

地域安全学会 ISSS
企画研究小委員会

研究テーマ名称	大規模災害における多数遺体の処置、遺体管理に関する研究
提案者（主査）	山形 真紀 立教大学社会デザイン研究所
背景・目的	現在想定されている南海トラフ巨大地震では、数万から数十万人規模に及ぶ人的被害（死者）の可能性がある。このような大規模災害における多数遺体の処置は、遺体の腐敗を想定した上で早期に、かつ従事する関係者や遺族、日本 社会に配慮したきめ細やかな対応を図る必要がある。そこで、南海トラフ巨大地震規模の大規模災害における、火葬するまでの間の多数遺体の処置や遺体管理のあり方について、国内外の学術横断的な知見を収集し、諸課題の洗い出しを行うとともに、南海トラフ巨大地震で多数の人的被害（死者）が想定されている地域を選定し、被害想定や行政職員のニーズに基づく、具体的な方法や必要な資機材について検討することにより、今後に資する知見を見出すことを目的とする。
活動期間	2024-2026 年度（3 か年）
活動計画	1 年目：諸課題の洗い出しや、南海トラフ巨大地震で被災しうる地域の行政職員に対してのヒアリングやアンケート調査などによるニーズの整理を行う。 2 年目：被害想定に基づく多数遺体の処置や遺体管理に関するシミュレーションを行い、具体的な処置方法や必要な資機材について検討する。 3 年目：研究成果をまとめるとともに、公開シンポジウムや出版企画等を行う。